

一般社団法人日本解剖学会2026（令和8）年度第4回常務理事会（臨時） 議事録

日 時：2026（令和8）年5月15日（金）18:00～19:00

場 所：オンライン開催

出席者：仲嶋 一範（理事長）池上 浩司、大和田 祐二、堀 修（以上、常務理事）、
岡部 正隆、竹林 浩秀、日置 寛之（以上、常任幹事）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、
口腔保健協会）

欠席：宮田 卓樹（常務理事）

I. 報告事項

特になし

II.. 審議事項

1. 第132回総会・全国学術集会およびThe 12th APICAにおける委員会企画への助成 審査について

資料に基づき、5件の委員会企画シンポジウムの提案内容を確認するとともに、助成希望があった提案へ助成各10万円が承認された。上記以外の企画として、若手研究者の会企画は別枠の予算が組まれている。若手育成委員会では、APICA Rising Star Colloquiumが計画されている。なお、学術委員会関連企画については、今後企画を提出する予定であることが確認された。

(1) 解剖体委員会企画

「変わりゆく社会における献体制度の現状と課題」

(2) 解剖学用語委員会企画

(3) 「解剖学用語をどの言語で教えるのか：国際比較と教育的課題」

(4) ダイバーシティ推進委員会企画

「日本と世界をつなぐ解剖学のダイバーシティ」

(5) 教育委員会企画

「解剖学関連教科を教える教員育成の持続性を考える」

(6) 若手研究者の会企画

「若手研究者の会主催プレミアムセミナー with 第7回若手研究者の会総会」

(7) 若手育成委員会企画

「APICA Rising Star Colloquium」

2. 学会ホームページ（HP）のリニューアルについて

学会HPリニューアルワーキンググループ（WG）より、今後のHPリニューアル

方針に関する提案が提出されたことが報告された。それに基づき、まず現行ホームページについて、以下のとおり、いくつかの問題点を共有した。

- テキスト情報が中心で視認性に乏しい。
- 階層が深く、目的の記事に到達しにくい。
- 特に大会ホームページへのリンクが見つけにくい。
- 一般の方・非会員の閲覧も多い学会であるが、会員向け情報と一般向け情報が整理されていない。

これらの諸点を改善する方策として、WGから提案された内容に基づいて審議した結果、以下の方針が決定された。

- (1) 学会HPの制作・管理は、競争的な条件下で選定された業者に委託し、一定の緊張感を維持することが望ましい。
- (2) 会員情報管理、会費決済、ウェブ投票等は引き続きOHASYSを利用し、新HPにはOHASYSへのリンクを設ける。
- (3) anatomy.or.jp のドメインは維持する。
- (4) HP上の会員専用ページへのアクセス権限管理のため、口腔保健協会からHP管理会社に月1回程度、必要最小限の会員資格情報を提供する。
- (5) 会員名簿のオンライン化の可否については、今回のHPリニューアルとは切り離し、名簿作成ワーキンググループで継続的に検討する。
- (6) HP管理業者としては、WGにおいて様々な条件を比較検討した上で選定された会社を候補として、予算執行を含めて臨時理事会を開催して審議頂くこととする。

臨時理事会の日程調整

HPリニューアル方針について審議するため、臨時理事会をオンラインで開催することとなった。

(その後、調整して6月18日 18時～19時に開催することが決まった。)